

2023年度国文学研究資料館 特別共同利用研究員受入要項

1. 目的

大学の要請に応じ、大学院における教育に協力するため、当館に「特別共同利用研究員」を受け入れ、必要な研究指導を行う。

2. 特別共同利用研究員

特別共同利用研究員とは、国立大学法人法に基づき、大学共同利用機関である国文学研究資料館において研究に従事し、併せて研究指導を受ける大学院学生をいう。

3. 受入人員

10名程度

4. 受入対象

日本国内の国公立大学大学院の修士課程又は博士課程に在籍し、日本文学及び関連領域の分野を専攻する者

5. 受入期間

2023年4月 ～ 2024年3月

なお、特別共同利用研究員の研究状況により、所属する大学院及び本人の申出があった場合、館内で審査のうえ1年の延長を認めることがある。

6. 研究指導場所

国文学研究資料館（東京都立川市緑町10-3）

※全国から希望者を募っています。国文学研究資料館への来館が難しい方などにはオンラインによる指導も応相談。希望する当館の指導教員とご相談ください。

※新型コロナウイルス感染症対策等の社会情勢に応じ、オンラインによる指導などに変更する場合があります。

7. 指導教員及び研究指導分野

特別共同利用研究員の指導教員及び研究指導分野は別紙「国文学研究資料館 特別共同利用研究員 研究指導概要一覧」のとおり。

応募書類を提出する前に、希望する当館の指導教員に必ず連絡を取り（※）、研究指導の方法や内容等について相談した上で応募手続きを行うこと。希望する教員への事前連絡がない場合、原則として応募の受付を行わない。

なお、希望する指導教員以外が研究指導を行う場合がある。

※指導教員への連絡については、問い合わせ窓口（教育支援係）にて仲介が可能です。

仲介をご希望の方は、教育支援係（E-mail: edu-ml1@nijl.ac.jp）（tel:050-5533-2915）へご相談ください。

8. 提出書類

- (1) 所属する大学院研究科長の委託書（様式1）
- (2) 所属する大学院指導教員の推薦書（様式2）
- (3) 当該学生の在学証明書及び成績証明書
- (4) 当該学生の略歴（様式3）
- (5) 研究業績（様式4）
- (6) 研究計画（様式5）

9. 提出期限

2023年3月10日（金）（必着）

10. 提出方法

郵送又はデータのいずれでも可

郵送の場合）〒190-0014 東京都立川市緑町10-3 国文学研究資料館総務課教育支援係
メールの場合）edu-ml1@nijl.ac.jp（教育支援係）

11. 研究指導に係る費用

無料とする。

12. 受入の決定

提出された書類に基づき、当館大学院教育委員会で審査の上、館長が決定し、その結果を所属する大学院の研究科長及び本人に通知する。

13. その他

- (1) 特別共同利用研究員制度により受け入れた学生に対する単位の認定及び学位論文の審査や学位の授与に関しては、当該学生が在籍する大学院で行うことを前提としており、当館は直接関与するものではありません。
- (2) 当館では、災害補償制度は準備しておりません。あらかじめ所属大学で、財団法人日本国際教育支援協会の行っている学生教育研究災害傷害保険等に加入してください。
- (3) 当館は、特別共同利用研究員の宿舍の用意はありません。
- (4) 当館の研究、事業および教員紹介については、ホームページ（<https://www.nijl.ac.jp/>）を参照してください。

【関係書類の提出先及び問合せ先】

〒190-0014 東京都立川市緑町10-3
国文学研究資料館
総務課 教育支援係

TEL : 050-5533-2915

FAX : 042-526-8604

E-mail : edu-ml1@nijl.ac.jp

2023年度 国文学研究資料館特別共同利用研究員 研究指導概要一覧

研究指導概要		指導教員
和歌史の研究	和歌文学の歴史につき、とくにその表現意識の変遷を分析する方法について考察する。	渡部 泰明
中世文学・中世芸能の研究	中世の文学および芸能の諸作品について、それらに関わる資料の調査と分析を重視しつつ研究を行う。なお希望に応じ、古典籍資料の扱い方や調査方法・研究方法についても指導する。	落合 博志
中世文学・説話に関する研究	中世から近世前期の文芸、とくに室町物語など絵入り本を中心に、説話や絵画、芸能、中国明代の出版文化等との連関を分析し、その文学圏域の検証を通して中近世日本における学芸の諸相を考える。	齋藤 真麻理
和漢比較文学研究	日本文学に影響を与えた漢籍の分析と受容の研究を、翻訳説話の受容と表象の視点から、原典読解の視点で分析を行う。今年度は、『今昔物語集』に影響を与えた漢籍の視点から『蒙求』(故宫博物院本・真福寺本)、『冥報記』(前田家尊経閣本)『三宝感応要略録』諸本の読解を行うことで分析を進める。	相田 満
中世和歌、堂上の学問と儀礼に関する研究	中世の和歌、歌学書、注釈書、伝書などの諸論書、及び、中世から近世初頭にかけて著された堂上公家の学問と儀礼に関する諸文献や記録資料につき、文献学的検討を通じた資料批判と検討を行い、その文化史的意義について考える。	海野 圭介
中世仏教と文学の研究、臨濟宗を中心に	室町末期(応仁の乱前後)から臨濟宗に起こった思想的変換を検討する。仏教学的な観点からの研究と同時に、文学などを通して禅宗の教えをどういう形で社会へ発信されたことを考察する。後に主流となった大徳寺と妙心寺の公案禅を主な対象とする。	ダヴァン デイディエ
平安中期物語文学の研究	平安中期の物語文学を中心としたかな散文作品について、当時の貴族社会における生成・享受の場(とくに女性達のコミュニティ)の諸相に注目しつつ考究する。	中西 智子
近世出版文化の研究	出版物を様式的に把握することを目的とする。写本と同様、出版された書物にも大きさや装丁など、様式がある。写本に比べ、手工業製品としての出版物は、技術的経済的理由により、強固に様式化される面も見られる。出版物のモノとしての側面に光をあて、様式上の問題を、具体例に則して考察してゆく。	入口 敦志
和歌史・学芸史を中心とする日本近世文学の研究	和歌史と学芸史を中心に据えつつも、思想史と出版史を射程に収めながら、漢詩漢文、連歌俳諧、小説など広く日本近世文学全般に関わる研究指導を行う。時代に即して研究を進めるための方法論を強く意識し、大きな見取り図のもとに、実証的研究をダイナミックに進めてゆくための〈すべ〉を磨く。	神作 研一
近世中後期小説の研究	18世紀後半(おおよそ宝暦年間)以降の近世小説について、注釈ならびに解釈を軸に、作者・画工・書肆・書写者など作品をとりまく営為をも視野に入れた研究を行う。	木越 俊介
江戸・明治期日本漢詩文の研究	江戸～明治時代の日本で書かれた漢詩・漢文、漢籍に施された注釈・評点などを歴史的な視点で読み解き、日本・世界の学術文化史の中に位置づける。儒学や政治・経済思想、書画・茶花などの諸芸、和歌・和文・俳諧・戯作などの文芸、中世以前の日本漢詩文との関連についても幅広く考察する。	山本 嘉孝
19世紀日本文学の研究	幕末から明治初頭にかけてのメディアの変革期に出版された小説や和学関連書冊ならびに作者について、その文学史上における位置づけ、人的ネットワークなどに配慮しつつ、具体的に探究する。	山本 和明

研究指導概要		指導教員
幕末～20世紀文学の研究	19～20世紀の文学を対象として、文学作品に引用された様々なジャンルや書物を討究し、文学作品の創作方法がどのように歴史的に変化したのかを探る。	多田 蔵人
文学情報処理	古今の文学テキストを題材にして、自然言語処理の立場からコンピュータを利用したテキスト解析手法について実証的な研究を行う。	野本 忠司
近世災害環境史の研究	日本近世における災害を起点とした環境史研究を行う。古文書のような一次史料の読解を、自然科学の知見を援用しながら行う。	渡辺 浩一
公家家職の地域展開と地域資料	主に近世の公家家職が地域の人びとにどのような広がりをもせたか、地域に遺された資料群総体の中で考える。近世天皇・朝廷研究に収斂することなく、地域史のひとつとして研究を行う。	西村 慎太郎
近世の地域行政に関する史料学的研究	各地の奉行所・代官所や村方・町方に遺された史料群の構造分析を通じて、江戸幕府・諸藩の地域行政のあり方を考える。特に、各地域の自然環境や生産活動などの違いに伴う文書類の作成・管理・保存の相違や特色などにも注目して研究を行う。	太田 尚宏
近現代文書管理史研究	公文書の作成から廃棄・保存にいたる管理システムの変遷の歴史および公文書を補完する私文書の特性について、具体的文書を参考にしながら研究を行う。	加藤 聖文
近世・明治期の政治文化と出版制度・書籍史料研究	17世紀前期の民間本屋の出現は書籍の作成・流通・利活用・蓄積に大きな変更を与えた。また書籍メディアと政権の関係を維新政府は改変する。これらについて歴史学・書誌学・アーカイブズ学等の方法論により取り組む。	藤實 久美子

National Institute of Japanese Literature
Special Inter-University Research Fellows
List of Faculty and Research Expertise for the 2023 academic year

Research Expertise and Interest	Faculty Name
和歌史 History of Waka	WATANABE Yasuaki
中世文学・中世芸能 Medieval Japanese Literature, Medieval Japanese Performance Arts	OCHIAI Hiroshi
中世文学・説話 Medieval Japanese Literature and Narratives	SAITO Maori
和漢比較文学 Wakan Comparative Literature	AIDA Mitsuru
中世和歌、中世・近世の公家の学問と儀礼 Medieval Waka, Knowledge and Rituals of Court Nobles in Medieval and Early Modern Japan	UNNO Keisuke
中世仏教と文学 Zen Buddhism and Japanese Literature in the Middle Ages	DIVIN Didier
平安中期物語文学 Mid-Heian-Period monogatari Literature	NAKANISHI Satoko
近世出版文化 Early Modern Japanese Print Culture	IRIGUCHI Atsushi
和歌史・学芸史を中心とする日本近世文学 Early Modern Japanese Literature, especially History of Waka, History of Arts and Sciences	KANSAKU Ken'ichi
近世中後期小説 Mid-late Early Modern Novels	KIGOSHI Shunsuke
江戸・明治期の日本漢詩文 Sinitic Poetry and Prose of Edo- and Meiji-Period Japan	YAMAMOTO Yoshitaka
19世紀日本文学 19th-century Japanese Literature	YAMAMOTO Kazuaki

Research Expertise and Interest	Faculty Name
幕末～20世紀文学の研究 Japanese Literature in Early-modern and Modern Ages	TADA Kurahito
文学情報処理 Computational Literature	NOMOTO Tadashi
近世災害環境史 Early Modern Environment History from the veiwpoint of Disasters	WATANABE Koichi
公家家職の地域展開と地域資料 Development of the Court Aristocracy in Regions in Early Modern Japan and Regional Materials	NISHIMURA Shintaro
近世の地域行政に関する史料 Historical Materials of Local Government in Early Modern Japan	OTA Naohiro
近現代文書管理史 History of the Modern Document Management	KATO Kiyofumi
近世・明治期の政治文化と出版制度・書籍史料研究 The relationship between political culture and the publishing system in Edo and Meiji	FUJIZANE Kumiko